

聖書研究祈祷会

2025/8/20 奨励：松並徹治

題：「足を踏み出せ、石を積み、あなたがマイルストーンとなる」

(ヨシュア記 3 : 13、4:6 - 7・出エジプト記 14 : 16)

皆さん、こんにちは。

今日一緒に味わいたいテーマは、「信仰の一步」と「記念の石」、そして「あなたの歩みが誰かのしるしとなる」ということです。

私たちは人生の中で、何度も「一步踏み出すべきかどうか」に悩むときがあります。例えば、新しい仕事を始めるときや、家庭の大きな決断をするとき、人間関係で難しい選択を迫られるとき…。あるいは、自分の信仰の道を、今までとは違う歩みに変えようとするとき、そんなとき、心の中にためらいや不安が生まれるものです。

そういう時、私たちは祈ります。「神さま、道を開いてください。状況を変えてください。海が割れるような奇跡を見せてください」と。

確かに、神さまは道を開かれるお方です。しかし、時には私たちにこう語られることがあります。

「先に足を踏み出しなさい。そのとき、私が水を止める」と。

今日は、「ヨルダン川の奇跡」と「紅海の奇跡」この二つの出来事から、神がどのように導かれるのか、そして私たちにどんな信仰を求めておられるのかを、一緒に受け取りたいと思います。

1. ヨルダン川では、信仰の足が先だった

出エジプトから約 40 年。モーセから代わってヨシュアが指導者となり、イスラエルの次の世代の民を率いて、約束の地カナンに入ろうとしています。

しかし目の前には、水嵩を増したヨルダン川がありました。それは川と呼ぶにはあまりにも激しく、流れの速い水の壁でした。神はここでも道を開かれます。けれども、その方法が違いました。

神は言われました。

「全地の主の箱を担ぐ祭司たちの足の裏が、ヨルダンの水の中にとどまるとき、ヨルダンの水は、川上から流れ下る水がせき止められ、一つの堰となって立ち止まる。」（ヨシュア記 3:13）

紅海の時とは違い、祭司たちが足を川に踏み入れるまでは、何も起こらなかったのです。水は流れ続けていました。しかし、彼らが信仰をもって一步を踏み出したその瞬間、水はせき止められたのです。

ここで注目したいのは、「紅海の時」とは命令の順序が違っているということです。紅海では、神がまずモーセに命じ、海が開かれ、それから民が進みました。でもヨルダン川では、まず祭司が足を踏み出さなければ、奇跡は起こらなかったのです。

これは、神が同じ奇跡を起こすにしても、「信仰の成熟度」に応じて、異なる導きをされるということを示しているのです。かつての世代は、恐れと不信に満ちていました。それゆえ、ヨシュアとカレブ以外は荒野で死に絶えました。しかし新しい世代の民は、神の言葉を信じて踏み出すことを求められたのです。

2. 記念の石を積む—神のわざを忘れないために

ヨルダン川を渡り終えたあと、神はもう一つの命令を与えられました。それは、「記念の石」を積むことでした。

「それらはあなたがたの中で、しるしとなるようにするためだ。後になって、あなたがたの子どもたちが『この石はどういうものなのですか』と尋ねたとき、あなたがたは彼らにこう言いなさい。『ヨルダン川の水が主の契約の箱の前でせき止められたのだ。箱がヨルダン川を渡るとき、ヨルダン川の水はせき止められた。この石はイスラエルの子らにとって永久に記念となるのだ。』」

（ヨシュア記 4:6-7）

神は、ご自分のなされた奇跡をただ体験させただけでは終わらせませんでした。その恵みを忘れないようにすること、そして次の世代に語り継ぐことを命じられたのです。

補足：マイルストーンとは何か

ここで使っている「マイルストーン」という言葉を少し解説します。もともと「マイルストーン (milestone) 」とは、道のりの途中に置かれた距離を示す石の標識のことです。例えば、古代ローマでは1マイルごとに石の柱が置かれ、旅人が「今どこにいるか」「あとどれだけかかるか」を知る目印となりました。そこから転じて、現代では「人生や計画の中の節目・記念すべき出来事」「前進を記録するしるし」という意味で使われています。

神がイスラエルに命じた「記念の石」も、まさにこのようなマイルストーンでした。それは、「神がここまで導いてくださった」という証しの石であり、「この先を歩む者が、信仰をもって進めるように」との道しるべだったのです。

そして今日、神はあなたにも言われています。

「あなた自身が、信仰のマイルストーンになりなさい」と。
あなたの祈り、信仰の選択、証しの言葉、人生の歩みすべてが、他の誰かの「信仰の旅路の目印」となり得るのです。

3. 紅海が割れる—神が先に道を開かれた

ここで、彼らがヨルダン川で見た奇跡を通して、彼らの心に思い起こされたであろうもう一つの奇跡、それは、かつて彼らの親の世代が経験した紅海の出来事です。

出エジプト記 14 章に、神がモーセとイスラエルの民を導いて、紅海を渡らせた有名な奇跡があります。エジプトから解放された民が進んだ道、その先に広がる海。後ろからは追ってくるエジプトの軍勢。

逃げ場のない中で、民は恐れ、パニックになりました。その時、神はモーセにこう言われました。

「あなたは、あなたの杖を上げ、あなたの手を海の上に差し伸べ、海を分けなさい。そうすればイスラエルの子らは海の真ん中の乾いた地面を行くことができる。」 (出エジプト記 14:16)

モーセがその通りにすると、海は分かれました。神が先に道を開かれたのです。民はその奇跡の中を進みました。

ここに、神の命令の違いがはっきりと見られます。紅海では、「神の行動が先」でした。恐れて動けなかった民のために、神が先に奇跡を起こし、その道を示されました。しかし、ヨルダン川では「信仰の行動が先」だったのです。

これは、神が民に期待しておられることの変化です。神の民が成長し、信仰をもって歩むことを学ぶように、神ご自身が段階を踏んで導かれるのです。

4. 今、私たちに求められる信仰

愛する皆さん、今あなたの人生の中に「ヨルダン川」のような状況はありませんか？

前に進むことが恐ろしくて、ためらってしまうようなことはないでしょうか？
でも神は言われます。

「足を踏み出せ。私はそのとき、水をせき止める。」

神の奇跡が先か、あなたの一步が先か、それは神のご計画によって異なりますが、確かなことは、神は信仰を通してご自身の業を現されるということです。

そしてあなたがその一步を踏み出したとき、神の奇跡を体験するだけでなく、あなた自身が「記念の石」となり、誰かにとってのマイルストーン（道しるべ）となっていくのです。

問いかけ

今、あなたはどの地点に立っていますか？

紅海の前にいるように、神の道を待っておられるかもしれません。

あるいは、ヨルダン川のように、「踏み出すべきか」迷っているかもしれません。

神は、あなたの人生にも奇跡を備えておられます。

でも、その奇跡を見るために、あなたに信仰の足が求められているのではないのでしょうか。

そしてもう一つ。

あなたの歩んできた道に、石を積んでいるのでしょうか？

神があなたにしてくださった奇跡を、どのように記憶し、語り継いでいますか？

あなたの歩みが、家族や友人、子どもたちにとっての道しるべとなるように、神はあなたを「生きた記念の石」としたいと願っておられます。

どうか今日、あなたの目の前にある川を前にしても、恐れるのではなく、信仰の足を踏み出してください。

そして、その歩みが次の世代への祝福のしるしとなるように、あなた自身が、マイルストーンとなることを、神は望んでおられます。